ひと ひと 女と男の情報紙

HIMAWARI Women & Men Information

ひまわり

Vol.22
2016.9.1

特集

みんなで考える災害対策

男女共同参画社会の実現に向けて
～男女共同参画の視点から～



写真「ひまわり」
前原宏行さん（八木田）撮影

第37回 フォーラムくまがや 2016 のお知らせ



小宮山　洋子　氏

元NHK解説委員・アナウンサー。1998年参議院議員に。2003年から衆議院議員(4期)。厚生労働大臣、少子化担当大臣等を歴任。2013年1月政界を引退、これまでの経験を生かし、社会保障(子育て、超少子高齢社会への対応等)、労働問題(特に女性)、男女共同参画をテーマに各地で講演。

★ 講演 **小宮山　洋子** (ジャーナリスト)
『女と男　豊かな生き方
～男女共同参画社会をめざして～』

★ **森田義史ピアノコンサート** (オープニング)

★ **第11回熊谷市男女共同参画推進表彰**



森田　義史　氏

11月26日(土) 午後１時から
(入場無料)
市立文化センター文化会館
(熊谷駅南口より徒歩５分)

＊手話通訳あり
＊託児あり(２歳以上の未就学児/要予約)
※未就学児の入場は不可

主催:熊谷市・熊谷市男女共同参画審議会
共催:くまがや共同参画を進める会

【入場申し込み】電話・FAX又はEメールで下記へ
氏名・住所・電話番号・入場人数をご連絡ください。
＊先着順に入場券を郵送します。(定員500人)
＊男女共同参画室・本庁舎(市民活動推進課)・各行政センター(地域振興係)の窓口でお申込みの際は、入場券を直接お渡しします。

熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
電 話:048-599-0011　FAX:048-599-0012
Eメール:市ホームページをご覧ください。

輝いてます！

街で出会ったいきいきさんをご紹介します

林　喜一さん（石原）
デジタルカメラで生み出す原風景



子どもの頃から写真を撮ることが好きだった林さん。現在、デジタル一眼レフカメラを使い、画像処理を駆使した写真を作成しています。

デジタル写真を始めたのはパソコン等電子機材に関連した仕事をしていたため、いずれ将来はデジタルが主流になると信じ、二十年前からデジタル一眼レフカメラを使用しました。その後は、カメラ、パソコン、プリンター等写真に関連した多くの機材を備え、素晴らしい作品を生み出しています。

林さんの作品は、国際写真サロン展で「審査員特別賞」二回の受賞や、英国王立写真協会展で「グランプリ」二回の受賞など、多くの称賛を受けています。

また、県の美術家協会副会長(写真部会会長)を始め、全日本写真連盟理事、英国王立写真協会日本支部理事等、数多くの要職を務められています。

その一方で、写真クラブからの講師依頼を受けて、県内外の写真愛好家や、市内の高校生への指導に力を注ぎ、写真の魅力を伝えています。林さんのお話では、近年は指導を受ける女性も増えてきて、県展でご夫婦同時受賞の快挙も達成しているそうです。

活動は海外にもおよび、様々な国を訪問しています。ミャンマーやインドネシア等で出会う人々の生活は、どこか懐かしく故郷に似ていて「もしかしたら、帰巣本能かな。」と、そんなことをふっと思いながら、さり気なくシャッターをきるそうです。

「あと三年、八十歳まで続けます。」写真展を控えた林さんは、意欲的にそう語ってくれました。



「学園祭」
熊谷女子高校の学園祭を撮影しました

「女(ひと)と男(ひと)のセミナー」が行われました

男女共同参画推進センター「ハートピア」会議室で、6月4日、11日、18日の3週にわたり、「結婚にまつわるエトセトラ」と題して、立教大学観光学部教授の豊田由貴夫氏によるセミナーが行われました。

初回の講座は「現代日本の婚活事情」。2回目の講座は「ディズニーに見る結婚観」。最終講座は「女性が結婚して働くには」。



参加者は今まさに婚活中の女性や、結婚適齢期の子どもを心配するお母さん、お仲人をよく頼まれる方が自身の勉強のためなど、様々な人が集まりました。質疑応答もあり、盛況のうちに閉講式となりました。晩婚化、非婚化の一因として、近代以降に西洋から普及したロマンティックラブイデオロギーという恋愛しないと結婚しない考え方により、見合い婚の減少と恋愛婚の増加があるとの先生のお話が印象的でした。

ひとりで悩んでいるあなた、一度相談してみませんか？

配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力（ＤＶ）に悩んでいる方、自分が我慢すればと思わずに、相談してください。

ＤＶはくり返されることが多く、犯罪にもなりうる行為です。

どんな小さなことでも、相談員がお聴きし、一緒に考えます。

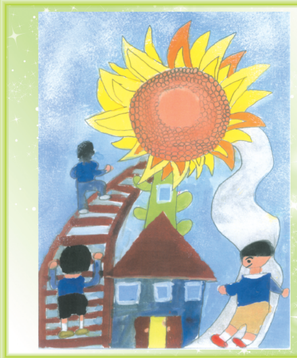
電話相談は匿名でもお受けしていますので、まずはお電話ください。

◆ハートピア相談室 ☎048-599-0015

相談名	相談日	時間
電話相談・面接相談（予約不要）	月～金曜日 第１・第３土曜日 （祝日、年末年始を除く）	9:00～17:15
弁護士による相談（要予約）	隔月1回（奇数月）	10:10～11:40
臨床心理士による相談（要予約）	毎月1回(第4金曜日) （祝日の場合は変更）	9:00～16:00
保健師による相談（要予約）	毎月2回 （第2・第3水曜日） （祝日を除く）	13:30～15:30

（各相談とも、無料・秘密厳守）

「ひみつきち　ひまわり」



中井　鳳治（たかはる）さん
（大麻生小学校2年生）の作品

編集後記

結婚を機に熊谷に来た私。長女の小学校入学以降、地域の方と関わる機会が増えました。ご近所のいい関係が、防災を考えるスタートかもしれません。　松﨑　恵子

災害時、地域の絆が人命救助、復興に大きな役割を果たすとの事。助け合える地域づくりの第一歩は、笑顔で挨拶。誰もができる防災活動です。　秋元　留美子

５月に種まきしたひまわりが、大きく育ち庭を明るくしてくれました。情報紙「ひまわり」もそうなりたいものです。　清水　治美

災害対策はニーズの違いを一人ひとりが考え準備することが必要です。そして他者のことを考えることにより地域全体の取り組みへ繋がると思います。　中島　直也

少し余裕ができましたので、立ち止まってみました。熊谷地域に活きる男と女「今」の姿を知りたいと思います。更なる歩み求めて…。　柴生田　幸子

＊＊＊募集＊＊＊

★表紙やカットとして掲載する「ひまわり」の絵・写真・その他の作品を募集します。

★「輝いてます！」(市内で活躍されている方の紹介)のコーナーに登場してくださる方を募集しています(自薦・他薦は問いません。)。

※両募集とも、応募多数等により掲載にならない場合がありますが、どうぞご了承ください。

★本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

【応募・問い合わせ】
〒360-0037
熊谷市筑波三丁目202番地ティアラ21(4階)
熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
・TEL 048-599-0011
・FAX 048-599-0012

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆インキ

■発行日　平成28年９月１日（年２回発行）　■発行　熊谷市　■編集　男女共同参画室（ハートピア内）・「ひまわり」編集員会
「ひまわり」Vol.22 は、71,000 部作成し、印刷・製本にかかる市の負担は、１部当たり 4.6 円です。